

△の数	訂正記事	担当	検図	年月日	△の数	訂正記事	担当	検図	年月日
△					△				
△					△				
適用規格									
定格	使用温度範囲	-55℃～85℃(注1)			保存温度範囲	-10℃～60℃(注2)			
	電圧	AC 200 V			使用湿度範囲	40%～80%			
	電流	1 A			保存湿度範囲	40%～70%(注2)			
性能									
	項目	試験方法			規格			QT	AT
構造	外觀,構造及び仕上げ	目視,寸法測定器にて測定する。			図面と合致していること。			○	○
	表示	目視にて確認する。						○	○
電氣的性能	接触抵抗	100 mA (DC 又は 1000 Hz) で測定する。			15 mΩ以下			○	—
	絶縁抵抗	DC 500 V で測定する。			1000 MΩ以上			○	—
	耐電圧	AC 650 V の電圧を 1 分間印加する。			せん絡・絶縁破壊がないこと。			○	—
機械的性能	単体挿抜力	□0.5±0.002mmの鋼製ピンで測定する。			差込力 2.45 N 以下 引抜力 0.25 N 以上			○	—
	繰返し動作	100 回の抜き差しを行う。			① 接触抵抗: 20 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。			○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz, 全振幅 1.5 mm, 3 方向各 2 時間試験する。			① 1 μs 以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。			○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 方向各 3 回試験する。						○	—
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃、湿度 90～95% 中に 96 時間放置する。			① 接触抵抗: 20 mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。			○	—
	温度サイクル	温度 -65→+15→+35→+125→+15→+35℃ 時間 30→10→15→30→10→15 分 を 5 サイクル試験する。						○	—
	塩水噴霧	濃度 5% の塩水、48 時間放置する。			① 接触抵抗: 20 mΩ以下			○	—
	二酸化硫黄	濃度 10 ppm、96 時間放置する。 (試験規格: JEIDA 39)			② はなはだしい腐食がないこと。			○	—
	はんだ耐熱性	はんだ槽の場合: はんだ温度 260±5℃ 浸せき時間 10±1 秒間			性能に影響する樹脂部の溶融が無いこと			○	—
		はんだごての場合: こて温度 350℃ はんだ付け時間 3 秒以内						○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 245±3℃、浸せき時間 2 秒間のはんだ付けを行う。			はんだ浸せき面の 95% 以上が 新しいはんだでぬれていること。			○	—
備考					製図	担当	検図	承認	出図
注1. 通電時の温度上昇を含みます。 注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。									
試験規格の記載のない試験方法はMIL-STD-1344を適用している。									
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目									
HRS ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.					製品規格表				
					製品名 A3C-**DA-2DSA(71)				
旧CL CL		図番 SLC4-081263-21		製品コード CL621			1 1		